

情報モラル教材「GIGA ワークブックやつしろ」を作成

～一般財団法人 LINE みらい財団との連携を開始～

八代市教育委員会は、LINE みらい財団と連携し、GIGA スクール構想の中でより重要な情報活用能力の育成を図るための教材「GIGA ワークブックやつしろ」を作成しました。令和 6 年度から各学校において情報モラル教育の教材として活用を始めています。本教材は「情報モラル」と「情報活用」について、児童生徒だけでなく、保護者の方も含め、どなたでも学ぶことができる内容となっており、八代市ホームページに公開しています。

1. 背景・目的

GIGA スクール構想により、本市全ての市立学校に 1 人 1 台端末を整備し、活用が進む中、情報モラル教育の重要性が高まっている。本市では児童・生徒の情報活用能力の育成を図ることを目的に、LINE みらい財団と連携し、情報モラル教材「GIGA ワークブックやつしろ」を作成。今後、各学校において情報モラル教育の統一的な教材として活用していく。

2. 教材の種類と内容

○ビギナー(主に小学 1~3 年生向け)

児童が端末を使い始める時期であることを想定し、基礎的な使い方やルール、リスク回避に重点を置いた内容

○スタンダード(主に小学 4~6 年生向け)

基礎的な使い方やルール、リスク回避といった情報モラル観点の内容だけでなく、ICT や情報の活用方法も盛り込んだ内容

○アドバンスド(主に中学生以上向け)

ICT や情報のより良い活用方法に重きを置き、情報社会へ参画していく視点も加えた内容

3. LINE みらい財団について

一般財団法人 LINE みらい財団は、LINE 株式会社(現:LINE ヤフー株式会社)が取り組んできた一連の教育活動から得られた知見やノウハウを、広く社会に還元し、より広域的・永続的に活動するため 2019 年に設立された団体。子どもたちがデジタル社会で生きる力を養うことを支援するため、情報モラル教育などに取り組んでいる。



問合せ 八代市教育委員会 教育政策課 担当:緒方・本田
TEL 0965-37-6025

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

教材の例:ビギナー(主に小学1~3年生向け)より

「勝手にとってよいのかな」



スキルのポイント

友だちの写真をとるときに、勝手にとってもよいのでしょうか？
たとえば、水着等のはだかに近い写真は、勝手にとってはいけません。
また、友だちのことをこっそりとったり、イヤがっているのにってはいけません。
友だちの写真をとるときは、相手にきょかを取るようにしましょう。



授業で活用した先生の感想

- ・多様な意見が出てきて、ルールが決めやすかった。
- ・情報モラルについて、大切なことを分かりやすく伝えることができた。
- ・イラストがとても分かりやすく、児童からの発言が多かった。
- ・いやな気持ちになる行動はしない、されたときは優しい言葉を使って注意する、など子どもたちから出た意見をまとめて、学級の約束とした。
- ・今までではどのような教材を活用し、児童に学ばせるとよいか迷うことが多かったが、児童が情報モラル教育について自分自身の問題として考えやすい教材であると実感した。